

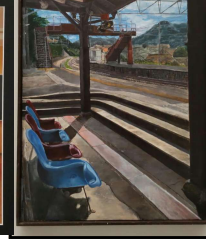
2年生は明日から修学旅行に出発します。 文責 学校長



～お互いに感染防止に十分に気を配りながら楽しんでください～

1 全九州総合文化祭が佐賀で開催されました。

12月9日(金)に「SAGAそう!がばいよか文化!」をテーマにして全九州総文祭・佐賀大会の総合開会式が行われ、九州各県の高校生が各専門部の作品展や独自のイベント・プログラムで交流を深めました。美術・工芸、書道、写真専門部の作品展は、県立博物館で開催され、県の総文祭で上位



入賞した本校生徒の作品も県の代表として展示されました。上の作品は、写真部の松本愛紅さん(1-1)の「独り法師」、西村彩華さん(2-6)の「嫌い」、美術部の松熊ゆりなさん(1-4)の「昼下がりに、待ち時間」、というタイトルの作品です。また、囲碁競技部門が武雄市文化会館で開催され、本校の小柳壮生くん(2-3)、神田陽向くん(1-2)が佐賀県代表として個人戦に出場しました。

2 弓道部女子が個人・団体戦で優勝、男子バスケ部もベスト8へ進出。

12月10日(土)に行われた「佐賀県弓道錬成大会(U16大会)」で荒川花歩さん(1-5)・古賀由夏さん(1-6)・野中理加さん(1-1)のAチームが第3位に輝きました。また12日(日)に行われた「2年生大会」で男子個人戦で山崎功大くん(2-1)が第3位、女子個人戦で八田遙心さん(2-4)が優勝、北晴奈さん(2-1)が第2位に輝きました。女子団体戦では北晴奈さん・八田遙心さん・光吉有咲さん(2-5)のAチームが優勝しました。また、10日(土)から開幕した「佐賀県高等学校バスケットボール新人大会」で男子がベスト8に進出しています。

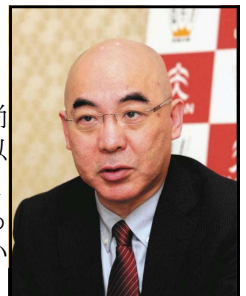
3 テニス男子シングルスで準優勝。弓道奨励射会で女子個人優勝、女子団体3位に。

12月3日(土)に行われた「秋季ジュニア選手権大会」で16才以下男子シングルスで石橋隼人くん(1-4)が準優勝に輝きました。また、12月4日(日)に行われた「第34回高等学校弓道奨励射会」で八田遙心さん(2-4)が女子個人で優勝、武雄高校Cチームが女子団体に第3位にそれぞれ輝きました。

4 今週の名言・・・百田尚樹の言葉です。

好きな仕事をするよりも、就いた仕事を好きになることが大事。

【解説】前回紹介した出光佐三氏の生涯を『海賊と呼ばれた男』という小説にまとめた著者・百田尚樹の言葉です。放送作家となり、朝日放送の『探偵!ナイトスクープ』のチーフライターを25年以上に渡り務めているほか、『大発見!恐怖の法則』などの番組の構成を手がけた。2006年(平成18年)に『永遠の0』を発表し、小説家としてデビュー。その後も数多くの著作を表し続けているベストセラー作家の一人です。その百田氏は「自分がやりたいこと、特にどんな職業につけばいいかは案外わからないことが多いのではないかと。人はすぐにまわりやマスコミの影響を受けるので、本当は何をやりたいのか、何に向いているかなどと考えることが難しいからだ。それでも、就いた仕事をしっかりとやるというのが日本人である。だから経済も発展していくのであろう。そして、目の前の仕事で成果を出し、自信を持った人の中から、こんなことをやってみたかったと様々な分野に挑戦する人も出て、そこで成果を生むのはとてもよいことである。なぜなら仕事というのは、一つ秀でれば、他の分野でも優れた成果を上げることができるからだ。私は長年、テレビの仕事をしてきたが、50歳近くになって、小説家としても超一流の作品が出るようになった。最初から小説を書いてなかなか難しかったと思う。とにかく今の仕事を好きになり、きちんとやることである。それが人生の原点となっていく。」と語っています。将来自分が就いた仕事を好きだと思えるほどとことんまで取り組むことが大事ですね。



5 今週の話成語・・・「積善の家には必ず余慶有り」【問題】英語で表現すると?

善行を積み重ねた家は、その報いとして子孫に必ず幸福がおとずれる。

(出典:「易経・坤卦・文言伝」より)

【由来】「易経一坤卦・文言伝」の一節から。「積善の家には必ず余慶有り、積悪の家には必ず余殃有り(善行を重ねた家には必ずいいことがあり、悪行を重ねた家には必ず悪いことが起こる)」のあと、世の中の大事件も一気に起こるのではなく、少しずつ原因が積み重なって生じるものだ、と述べています。ちなみに、群馬県の四万温泉にある「積善館」という旅館は、この話成語から名づけられています。



6 入試によく出る漢字(その60)・・・共通一次(1980年度本試験)に挑戦!

- (1) その器[カン]の示すさまざまな働きは恒常性を… [[カン]部・返[カン]・[カン]理・勇[カン]・[カン]序
- (2) 生物的な生存の[キ]盤そのものである生態系を… [[オ]きる・[クワダ]てる・[アブ]ない・[モト]づく・[カガヤ]く
- (3) 科学的知の一つの[テツ]底としての近代科学は、… [更[テツ]・[テツ]則・透[テツ]・[テツ]去・先[テツ]]
- (4) 近代科学がその発達の過[テイ]で軽視したり… [中[ニワ]・取り[シ]まる・身の[ホド]・見[サダ]める・[ヒク]い]
- (5) 方法の点でも[チク]積された知識についても… [爆[チク]・[チク]一・増[チク]・[チク]産・貯[チク]]

7 今週の一冊・・・夏目漱石の『それから』(新潮文庫)です。

長井代助は三十にもなって定職も持たず独身、父からの援助で毎日をぶらぶらと暮している。実生活に根を持たない思索家の代助は、かつて愛しながらも義侠心から友人平岡に譲った平岡の妻三千代との再会により、妙な運命に巻き込まれていく……。破局を予想しながらもそれにむかわなければいけない愛を通して明治知識人の悲劇を描く、『三四郎』に続く前期三部作の第二作。この後、最終章『門』へ。(参考:本書裏表紙説明より)

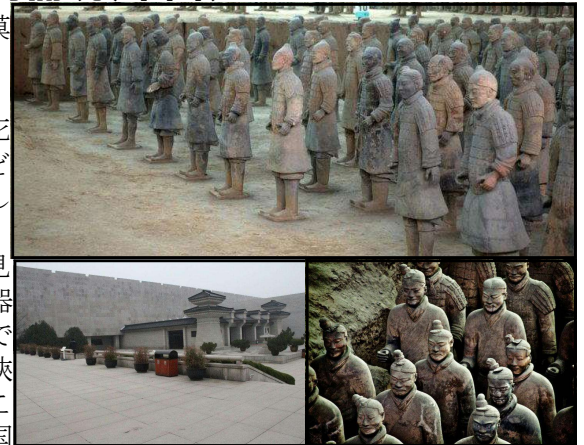


【解説】31号で紹介した夏目漱石の『三四郎』に続く前期三部作の第2作品目となる『それから』を紹介します。三部作と言っても、主人公は「三四郎」ではなく、「代助」という設定で新たな物語として始まります。「恋人がいま親友の妻。再会、あなたならどうする。」現代の君たちで言えば「好きな人が友人の彼女・彼氏だったら、あなたはどうしますか」と問われているような作品です。切ない恋心と理性との狭間で苦悩する主人公の葛藤が漱石独特の文体で丁寧に描かれています。明治期の文体で書かれているため、令和の君たちには読みづらいと感じるかもしれませんが、ラストは、新鮮な問いを投げかける、漱石渾身の恋愛小説です。最後まで読み切った人には、タイトルが「それから」とつけられていることに合点がいくでしょう。

【作者・夏目漱石について】第31号を参照。

8 世界遺産を巡る・・・第85回は秦始皇帝陵及び兵馬俑坑(中国)(登録:1987年)

【解説】秦始皇帝陵は秦の初代皇帝である始皇帝の命で造られた大規模な陸墓で、その周辺一帯に一面を囲うように築かれたのが兵馬俑坑です。これらの範囲は非常に広く兵馬俑坑のみで2万㎡もの規模があります。兵馬俑坑内にある兵馬俑とは当時の皇帝の思想に深く関わるもので、死者を埋葬する上でその周辺に副葬された物(俑)の中で兵士及び馬を型どった物の事を指します。兵馬俑坑は大きく3つに分かれていて、総計して陶馬が600体・武士俑は成人男性の等身大で約8000体程あり、全てが東向きに置かれていて、兵士及び馬以外にも戦車が100余台見つかっています。兵馬俑坑内にあるこれらの造形物から当時の衣服や武器・馬具等の生活様式に関わる様々な事柄が推察でき中国の歴史を知る上で学術的にも価値のある建造物となっています。秦始皇帝陵は、中国陝西省西安の驪山の北側にあります。ここから1.5 kmほど離れたところにある兵馬俑坑は、この副葬坑です。始皇帝は、紀元前221年に中国を統一し、中国史上初めての皇帝となりました。陵墓の建設は、彼が秦王となつてからすぐに始められました。約70万人の労働力が投入され、約40年の歳月を費やした後、完成しました。二重の外壁に囲まれ、高さは76mあります。外観は小高い山のようなのですが、実は、この地下にあるといわれるものがすごいのです。司馬遷の「史記」によると、地下には宮殿があり、侵入者を射る弓が設置され、水銀の川が流れ、天井には宝石と真珠が散りばめられていたそうです。これが事実ならば驚くべきことです。そして、調査により、墳丘の地下30mのところに、東西170m、南北145mの地下宮殿があることが判明しました。なお、水銀の濃度が自然界よりもはるかに高いという調査結果も得られ、水銀の川があったという記述を後押しする裏付けになりました。こうなると、俄然、内部がどうなっているのか知りたくなりますが、残念ながら、発掘調査は進んでおらず、始皇帝の地下宮殿の姿はヴェールに包まれたままです。まだまだ、世界をあっと言わせる大発見が眠っているようです。(参考:「世界遺産人気ランキング」より)



9 街角グルメを訪ねて・・・第85回は波佐見町の「Sweets Of Happiness」です。

前回と同じ波佐見町にあるもう一軒のスイーツ店「Sweets Of Happiness」を紹介します。フォトスタジオに併設してあるケーキ屋さんです。種類は多くはありませんが、この日買った「モンブランロールケーキ」と「濃厚チーズケーキ」はどちらも絶品でした。モロゾフのチーズケーキをさらに濃厚にした味わいのチーズケーキでした。こちらも嬉野や武雄から近いので是非一度行ってみてください。



10 保護者の皆様へ・・・19日(月)から三者面談を行います。

19日(月)から4日間の日程で「三者面談」を行います。日ごろの家庭での学習状況や生活状況等をお聞きすることになります。また、1年生は「文理選択」、2年生は「志望別のクラス選択」、3年生は「受験校(私立)」や「受験の可能性のある志望校(国公立)」を、それぞれ確認・決定する大事な面談ですので、予めご家庭でお子様と十分にお話し合いの上、面談に臨んで戴きますよう、よろしくお願いたします。

【英語】◇ a virtuous family enjoys long prosperity ◇ one's good deeds shall be repaid even to one's descendants

【正解】(1) 器官〔幹(患)部・返還・管(監)理・勇敢・官庁〕(2) 基盤〔起きる・企てる・危ない・基づく・輝く〕(3) 徹底〔更迭・鉄則・透徹・撤去・先哲〕(4) 過程〔中庭・取り締まる・身の程・見定める・低い〕(5) 蓄積〔爆竹・逐一・増築・畜産・貯蓄〕